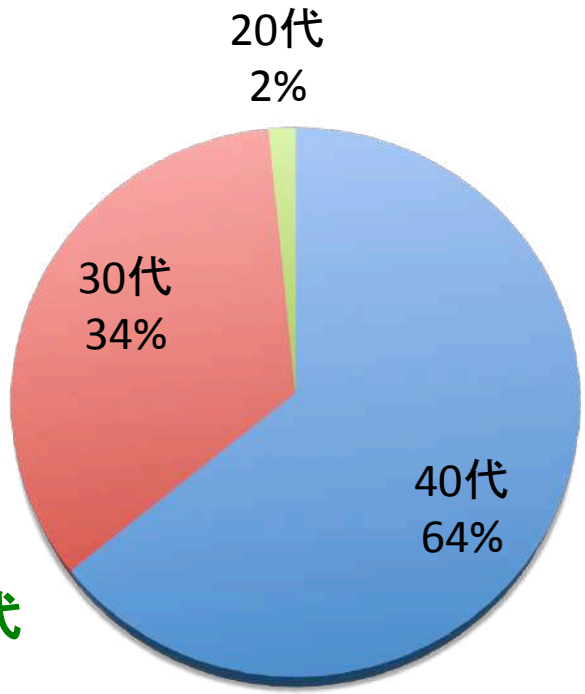
埼玉県飯能市森林づくり推進課 木育事業
令和３年度　事業報告書

令和3年度木育プログラム「おやこのキャンパス」実施日・参加人数

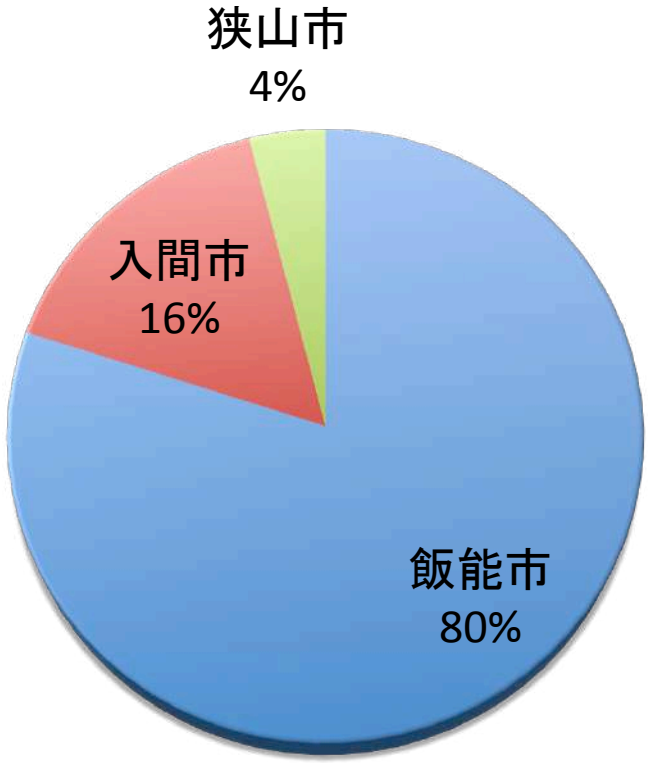
	実施日	イベントタイトル	参加者人数*
①	5月23日	キッズ・サイエンス・ラボ vol.1	10組20名
②	6月13日	西川の森・赤ちゃんと一緒 vol.1	3組6名
③	6月27日	えいごdeえほん vol.1	5組10名
④	7月17日	西川の森・赤ちゃんと一緒 vol.2	4組8名
⑤	10月10日	もくもくらぶ vol.1	5組10名
⑥	10月24日	キッズ・サイエンス・ラボ vol.2	10組20名
⑦	11月14日	もくもくらぶ vol.2	5組10名
⑧	11月28日	もくもくらぶ vol.3	5組10名
⑨	12月12日	もくもくらぶ vol.4	5組10名
⑩	12月19日	えいごdeえほん vol.2	5組10名
⑪	1月10日	もくもくらぶ vol.5	5組10名
		参加者合計	62組124名

＊令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大予防から定員を基本5組10名までとしました。
尚キッズ・サイエンス・ラボの定員は10組20名までとしました。

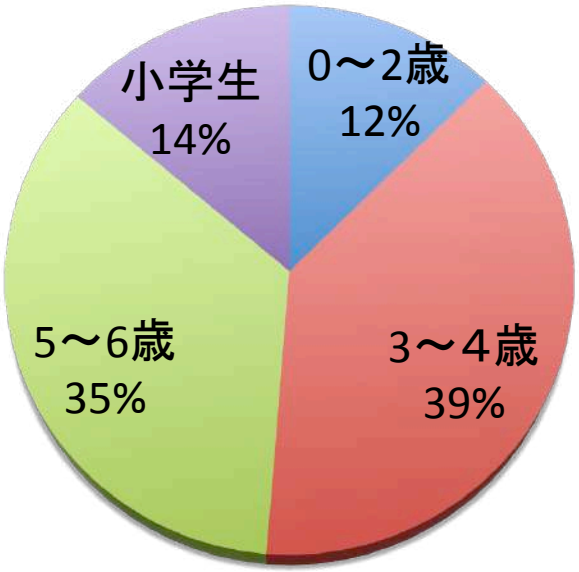
アンケート結果①



参加者年代
（保護者）



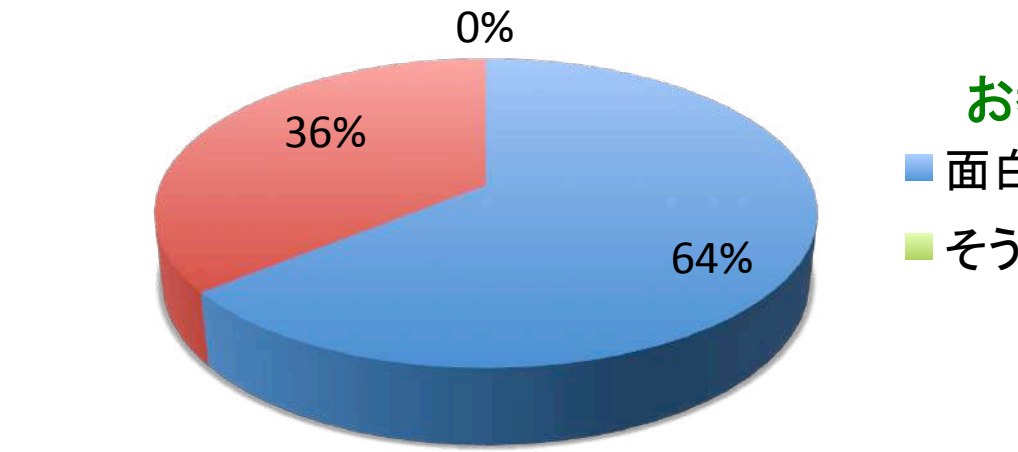
参加者在住地域



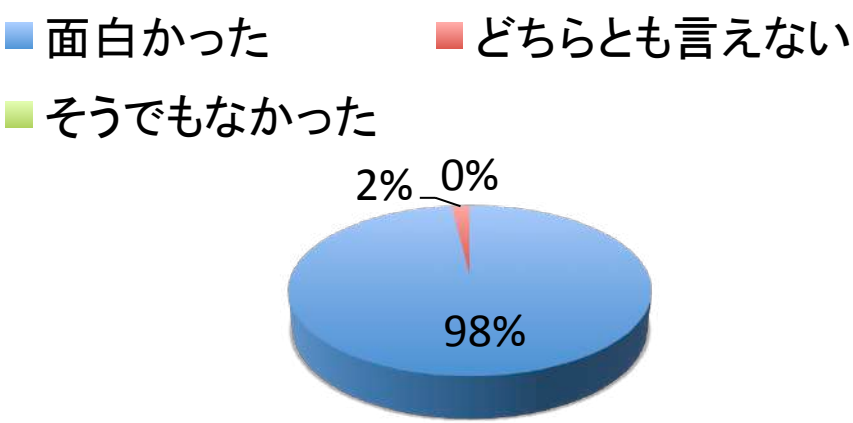
参加者年齢
（子ども）

アンケート結果②

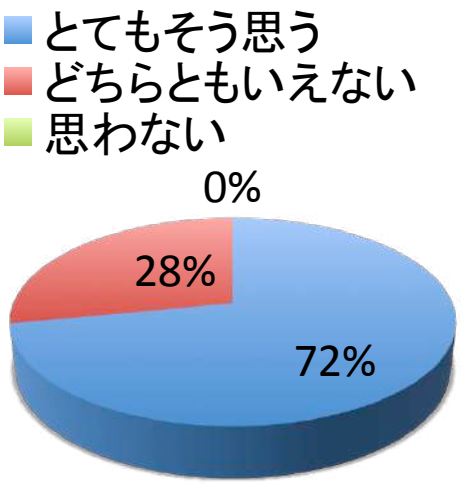
お教室は期待以上でしたか？



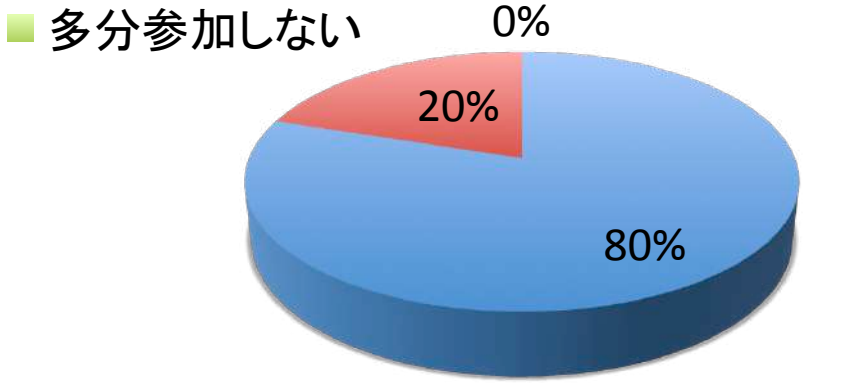
お教室は面白かったですか？



木育はあなたの日常を豊かにすると思いますか？



木育教室にまた参加したいですか？



■木育事業に合わせた林業センター館内設備

- プレイマットの設置
- 授乳室の設置
- 給湯案内
- 幼児用トイレ用具
- 木育教室用看板
- その他 感染予防用品

ハンノウ大学
HANNO UNIVERSITY NETWORK

2021/6/13
西川の森・赤ちゃんと一緒

ママと一緒に
木の香りや
木の手触りを楽しみました。

端材にやすりにかたけり
たか～く積み上げたりと、
理科実験と共に挑戦。

2021/5/24
キッズ・サイエンス・ラボ

ハンノウ大学
HANNO UNIVERSITY NETWORK

2021/6/27 えいごdeえほん

「はらぺこあおむし」
の絵本と、
葉っぱを使った
お絵描きをたのしみ
しみました。

2021/10/10 もくもくらぶ
西川材で遊ぶ
I ♡ Tree

「浮かぶの！？浮かばないの！？
木の船ぷ～かぷか」
たらいに張った水に葉や枝、
木の実、木材！？を
浮かべてみます。
どうなるかは…
やってみなくちゃわからない！

2021/10/24

キッズ・サイエンス・ラボ

さまざまな理科実験を通じて、木から生まれた紙の
不思議を学びました。

2021/11/14 もくもくらぶ 西川材で遊ぶ I♡Tree

「落ち葉で！？魚つり！？
ふ～わふわ」
落ち葉の形を利用して
魚を作ってみましょう！
できたお魚を
みんなで釣って遊ぶよ。
釣れるかな～？

2021/11/28
もくもくらぶ 西川材で遊ぶ
I ♡ Tree

「木の実で！？
ケーキ！？
こ～ろころ」
木の輪切りを
ケーキに見立てて
木の実を
デコレーション
しちゃおう！
美味しそうなケーキが
できるかな？

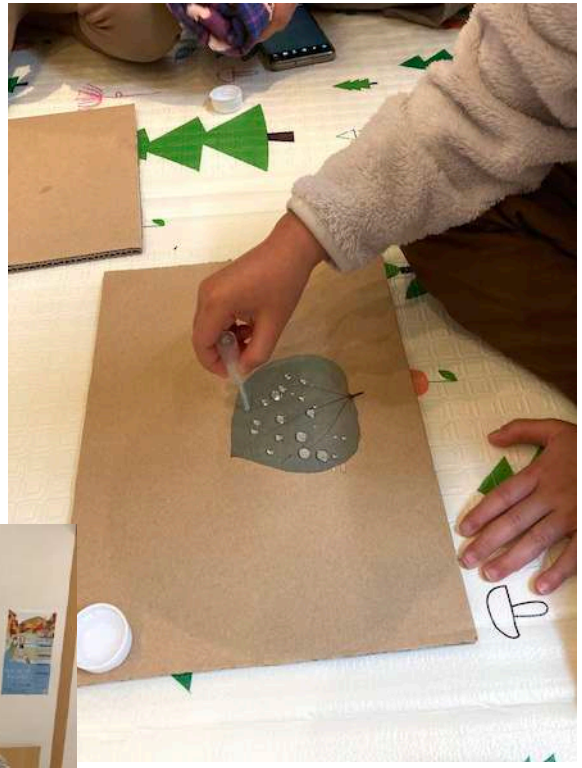
2021/12/12
もくもくらぶ西川材で遊ぶ
I ♡ Tree

「木の枝で！？
ツリー！？
わ～くわく」
木の枝を使って
クリスマスツリーを
描きます。
枝で描く？どうやって？さ～て来てからのお楽しみ！

木の枝を使って
クリスマスリース
を作りました。

2021/12/19 えいごdeえほん

2022/1/10
もくもくらぶ 西川材で遊ぶ
I ♡ Tree



「木としずく！？
ぽったんって！？き～らきら」
葉っぱの上に一粒のしずくを自分で
つくり出すことから始めます。
小さなまんまるのしずくの中には
何が見える！？

保護者アンケートに寄せられたコメント（抜粋）

質問例：お教室が期待以上だった、その理由？
特に印象に残ったことがあれば、教えてください。

- 人を引き寄せる“さっちん”やスタッフのおかげで子どもも大人も楽しかった。
- 子どもが自分自身で考える姿が見たかったので参加しました。
- 子どもが人見知りなので、色々な人と関わってほしいと思っていました。
- 子どものペースに合わせて進めてくださったこと。考える力を育んで下さった。
- 子どもがとても楽しそうにしていました。ありがとうございました。
- 西川材によるあそびを子どもに体験させたかった。
- いわゆるDIYのワークショップかと思っていましたが、もっと子どものセンス・オブ・ワンダーを主とするプログラムでとても楽しかったです。
- 身の回りにあふれた物も、水に浮かべるてみる「実験」にすることで、こんなに子どもが熱中し、楽しそうにするのだと驚きました。
- 家でやるより、子どもが能動的に取り組んだ。
- まずは子どもの感性に訴える、刺激を与える内容で、かつ平易な内容で受入れやすかったです。
- 引き続き、同様の体験ができる機会を継続的に設けて頂ければ幸甚。
- 息子に新しい場所で新しい体験をしてほしかった。
- 学びへの好奇心や新たな発見が芽生えた。

総　括　長谷川幸子（もくもくらぶ担当・ハンノウ大学理事）

2021年、飯能の森から元気をもらえる子どもが一人でも多く育つことを目的として教室が開かれました。元気をもらう、ということは飯能の森、つまり「木」と友達になっているということです。会うと元気になる、会うと楽しい思い出が蘇る、友達のことをもっと知りたいと思う。友達の元気がない時は助けたいと思う（＝飯能の自然環境を守りたいという気持ち）につながっていく。ただ単に木材を扱ったクラフトをするのではなく、なぜ木材や自然物を扱った時間を子ども達に提供するのか、その目的を常に念頭に置きながらの企画運営となりました。

実際に子ども達は、初めこそ緊張した表情もみられましたが、自然物に出会い、自らの想像力を発揮し、自由に創造していく中で、その様子はすっかり変わっていきました。また、その場にいる大人が「いいね！とっても素敵だね」と声をかけてあげることによって、子ども達はさらに想像力を働かせて次はどうしようと工夫する楽しさを見つけ出します。子どもが本来持っている力を伸ばしてあげるには、大人が余計な口を出さず、誘導せず、見守ることが重要です。

また、自分が認められる体験は子ども達の自己肯定感を育みます。そこに居合わせる自分を認めてくれる大人と一緒に楽しく過ごす時間、そして木材だけにとどまらず枝、葉っぱ、木の実、水や土といった自然物との「出会い」は好奇心を刺激し、想像力や創造力に留まらず、思考力・判断力・表現力など様々な能力をも育むのです。

木に囲まれ、木の香りに包まれる林業センターで、このような活動を継続することは、未来を担う子ども達が飯能の森から元気をもらいながら豊かなに育つお手伝いに貢献していると自負しております。そして、子ども達が成長した際には、飯能の自然環境を持続可能なレクリエーションの場として保全していくために『自ら考え行動できる人となる』ことを願っています。

飯能市林業センター木育事業が目指すもの（方針）

飯能の森から元気をもらえる子どもが一人でも多く育つこと。

元気をもらう、ということは飯能の森、つまり「木」と友達になっているということ。
会うと元気になる。会うと楽しい思い出が蘇る。
友達のことをもっと知りたいと思う。
友達の元気がない時は助けたいと思う（＝飯能の自然環境を守りたいという気持ち）につながっていく。

■目指すもの、その先に見据える未来

飯能の自然環境を持続可能なレクリエーションの場として保全していくために、
自ら考え行動できる人が増える。

■林業センター木育事業の現在の活動

室内で木の輪切りや葉、木の実などと五感を通して出会い、楽しい体験をする。

■今後必要となる活動

野外で実際の木に触れる、楽しい活動をする。
林業（伐採作業等）を体験することで森と自分たちの生活が関わっていることを知る。

飯能市林業センター木育事業2022年度実施計画（予定）

①「もくもくらぶ一西川材と遊ぶ！♡ Tree 」12回開催
②「キッズ・サイエンス・ラボ」５回開催
③「おやこの木工房」（新企画）２回開催
④「もくもく広場カフェ」（新企画）10回開催
⑤「もくもくコンサート」（仮・新企画）３回開催

【お問い合わせ先】
NPO法人埼玉ハンノウ大学 事務局
〒357-0038 埼玉県飯能市仲町6-1
旧飯能織物協同組合事務所建物
（登録有形文化財）蔵
email: saitama@hanno-univ.net
tel: 070 4348 6111
www.hanno-univ.net

埼玉県飯能市森林づくり推進課 木育事業
令和３年度　事業報告書

埼玉ハンノウ大学は
学びを通じて人と街や地域をつなぎ
未来を「共に創る」
地域共創プラットフォームを目指しています
（学校教育法上で定められた正規の大学ではありません）